

うた芝居

“心で出会って  
心が動く”

# ななかおに

原作 浜田廣介 演出 伊藤多恵 台本 山の音楽舎 作曲 川中美樹

ココロノヤサシイオニノウチデス  
人間たちとなかよくくらしたいおには  
戸口のまえに木の立て札とたてました  
ところが・・・

ところが・・・

いっぱい笑って

ちよっぴり泣いて

うたとお芝居で織りなす

おもしろせつないうた芝居

心のひだを  
より深く!



### アンケートより

たった45分の作品だが、たっぷり見応えのある作品だ。日本版オペラ…うた芝居。人間の歌声と打楽器が創り出すシンプルな舞台。たった一枚の戸板の装置が回るたびに、室内、室外、村人の家、あかおにの家…と変化する。芝居の説明は極力少なめ。しかし、いえ、そのためか子どもたちの集中はすごい。芝居の中にたくさんちりばめられた言葉遊び、身体表現、単純な言葉と動きの積み重ねてストーリーが運び、説明の少なさが舞台の役者たちの演技を際立たせ、それが、嬉しい楽しい。ラストがまた良い。書き置き一枚であおにの状況を知り、ウオ〜と泣き続けるあかおにを観ながら、悲しみや優しさが胸がいっぱいになる。良い芝居と出会った喜びは格別。